

部の運営方針・課の目標設定書(令和2年度)

部コード	02	部名	企画財政部	部長名	小林 修
1. 部の運営方針(予算編成・実施計画策定方針などを踏まえて、基本計画の分野別計画や重点プロジェクト、所管に係る分野別基本計画の目標を考慮して、部の目標を達成するための方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<ul style="list-style-type: none"> 第四次総合計画の策定を進めます。また、第三次基本計画を着実に推進するため、第10期実施計画に位置づけた事業を適切に進行管理していきます。さらに、まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付ける施策や事業の着実な推進など人口減少対策に取り組めます。 行政評価制度を活用し、事業の適切な進行管理を行うとともに、行政改革の取り組みとも連動しながら事業の改善に努めます。 ファシリティマネジメントを推進するため、公共施設等総合管理計画の基本方針を踏まえた個別施設計画の策定に向けて各施設の所管課を支援するとともに、適切に進行管理を行います。また、他部局と連携し、施設整備において積極的な調整を進めます。 「湖北台地区公共施設の整備方針」に基づき、事業を進行管理していきます。 新たな文化交流拠点施設については、関係課と情報共有するとともに、施設の交流支援機能について情報収集していきます。 成田線の増発や常磐線特別快速列車の我孫子駅への停車など、鉄道の利便性の向上に取り組めます。 市民サービスの向上や効率的・効果的な行財政運営を図るため、近隣市町等と連携しながら、公共施設の相互利用や事務の共同処理の拡大など広域行政を一層進めます。なお、東葛中部地区総合開発事務組合については、我孫子市より職員1名を派遣するとともに、今後の運営手法について検討していきます。また、手賀沼・手賀川を活かして交流人口の拡大を図る取り組みを、引き続き進めていきます。 連携協定を結んでいる各大学と協力し、相互連携の取り組みを充実していきます。 平和事業を市民の協力と参加のもとに実施し、平和の大切さについて市民とともに考えます。 厳しい財政状況が続く中、持続可能な財政運営を図るため、中期財政計画を指針として、限られた財源を効率的・効果的に活用しながら、計画的な予算の編成と執行を進めます。 市の歳入の根幹をなす市税の確保に向け、税目ごとの的確な賦課・徴収を行い、自主財源の確保に努めます。市税の徴収では、滞納整理等の強化に向けた取り組みを進めます。また、個人市民税の特別徴収を引き続き進めるとともに、口座振替とコンビニ納付等の推進により徴収率の向上に努めます。市税以外の収入では、複数のポータルサイトを活用してふるさと納税を推進するとともに、寄附受入額の増加に繋がるよう魅力ある返礼品の企画・発掘に努めます。また、市民による他自治体へのふるさと納税額の増加に伴い、市税の減収額が拡大していることから、広報やホームページを通じて、減収の状況について広くお知らせしていきます。 予算編成では、歳出において扶助費や公債費などの増加が見込まれるため、歳入に見合った歳出が基本であるとの認識のもと、行政評価等と連動させながら経常的経費の削減を図ります。 予算編成状況や決算状況、財務書類、財政白書、健全化判断比率等の公表など、市の財政状況について、広報やホームページなどを通じて市民にわかりやすくお知らせします。 				<ul style="list-style-type: none"> 計画に沿った事業の進行管理をおおむね適正に行うことができた。 次期総合計画の策定では、基本構想(案)の策定を進め、令和3年3月市議会にて可決いただいた。 鉄道の利便性向上では、継続的な要望活動のほか、令和3年度に実施する成田線開業120周年記念事業に向けた、準備・調整を実施した。 平和事業では、戦後75年を迎えることから、新型コロナウイルス感染症防止に配慮しながらも、平和事業を拡大して実施した。 	
				部の運営方針に対する部全体の総合評価	
				<ul style="list-style-type: none"> 部の運営方針に掲げた各課の取組については、概ね想定どおりに遂行できた。 財源の確保では、地方創生臨時交付金の有効活用を進めた。また、ふるさと納税における新たな返礼品設定などにより、歳入の増加につなげた。 令和4年度から第四次総合計画をスタートするため、基本構想の策定を行った。引き続き、計画の策定を進めていく。 	



課コード	01	課名	企画課	課長名	高見澤 隆
2. 課の目標(部の運営方針を受けて課の取組方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<ul style="list-style-type: none"> 基本構想、基本計画、実施計画に基づき、総合的・計画的な行政運営を図るとともに、部門横断的な行政課題に対応するため、庁議や活力ある地域づくり推進会議などを開催し、庁内の総合的な調整や情報共有を図ります。 行政評価制度を活用し、第三次基本計画の施策や第10期実施計画に位置づけられた事業の進行管理を行い、事業の改善に努めます。 湖北台地区の公共施設の整備については、整備方針に基づき、庁内の連絡調整を図ります。 新たな文化交流拠点施設については、関係課と調整しながら、検討を進めます。 成田線の増発などを引き続き強くJR東日本に働きかけます。 市民サービスの向上や効率的・効果的な行財政運営のため、近隣市町との連携を強化し、事務の共同処理の拡大や共通課題の解決に向けた取り組みを進めるとともに、公共施設などの相互利用の拡大に向けた取り組みを進めます。 柏市、流山市と連携しながら、東葛中部地区総合開発事務組合のあり方を検討します。また、ウイングホール柏斎場では、今後の火葬需要を踏まえた施設整備を計画的に進めていきます。障害者支援施設「みどり園」では、市民サービスの向上や効率的で効果的な運営などの視点からモニタリングを実施し、利用者サービスの向上に努めます。 我孫子市、柏市、印西市と国や県の機関で構成する手賀沼・手賀川活用推進協議会では、29年度に策定したアクションプランに基づいて、手賀沼周辺の魅力向上に向けたサイクリングロードの整備に向けた取り組みなどを進めていきます。 「平和の灯」や「サダコ鶴」などを活用するとともに、若者による平和リレー講座を小学校で開催するなど、戦争や原爆の恐ろしさ、平和の大切さを次の世代に伝えていく取り組みを引き続き進めていきます。また、8月に12人の中学生を広島に派遣します。 平成29年度からスタートした第三次国際化推進基本方針に基づいて国際化推進事業を着実に進めます。 平成27年度に策定した我孫子市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、若い世代の定住化や少子化などの地域課題の解決に向けた取り組みを大学や民間企業等と連携しながら総合的に進めます。 2022年度にスタートする第四次総合計画策定の策定を進め、基本構想については、9月議会への上程を目指します。 国土強靱化地域計画の策定を関係各課と調整しながら進めます。 				<ul style="list-style-type: none"> 行政評価を活用し、事業の進行管理を図った。 新たな文化交流拠点施設の整備については、事業の進め方について関係課と調整を行った。 平和事業では、中学生の広島派遣やリレー講座、手賀沼とろう流しを実施し、平和の大切さを次の世代に伝えていく取組を実施した。 市議会に対し、令和4年度からスタートする次期総合計画の基本構想を上程し、基本構想審査特別委員会での審議を経て、令和3年3月議会にて可決いただいた。 市制施行50周年事業の一環として、我孫子駅の発車メロディーを「我孫子市民の歌」・「河童音頭」に変更した。 	
3. 課の目標を達成する上での課題と対応(人員の配置、組織のあり方など)					
<ul style="list-style-type: none"> 総合計画の策定に加え、国土強靱化地域計画の策定があることから、体制が課題となる。 渉外事業については、土日や夜間の業務が多いため、体制・業務の効率化などが課題となる。 					



4. 原因分析・改善策	
(課長) 特になし	(部長) 特になし

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業										
事務事業名(個別事業)	重づけ該当	施策コード	指標	単位	現況値	目標値	実績値	達成率(%)	評価	
1 都市間交流の推進	重無	84002	基本方針策定の進捗率	%	0	50	0	0	現状	
2 国際交流活動への支援	重無	43101	補助する事業の数	事業	10	10	10	100	現状	
3 在住外国人支援事業	重無	43201	外国人のための日本語教室開催数	回	62	68	67	98.53	現状	
4 平和事業の実施	重無	51102	派遣中学生発表会の来場者数の前年度比(2020年度の来場者数/	%	100	110	86	78.18	現状	
5 常磐線の利便性向上	重4	63401	要望事業数	項目	3	3	3	100	現状	
6 成田線の輸送力強化と利便性向上	重4	63401	要望実績数	項目	10	10	25	250	現状	
7 施政方針・一般報告等の作成	重無	81101	施政方針・市政一般報告、ふれあい懇談会ホームページへのアク	件	5,381	2,900	5,527	190.59	現状	
8 庁議の運営	重無	83101	連絡調整率(連絡調整された議題数/連絡調整を必要とする議題	%	100	100	100	100	現状	
9 議会運営の支援	重無	83101	答弁検討会、施政方針・一般報告の調整率	%	100	100	100	100	現状	
10 湖北台地区公共施設整備の検討	重無	83101	事業の進行管理	%	0	20	20	100	現状	

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業									
事務事業名（個別事業）	重 施 該 当	施 策 コ ー ド	指 標	単 位	現 況 値	目 標 値	実 績 値	達 成 率 (%)	評 価
11 総合計画の策定と進行管理	重無	83101	事業実施率（実施済事業数／実施予定事業数）	%	100	100	100	100	現状
12 行政評価の推進	重無	83102	事務事業の改善策の実施率（2年度から廃止・休止した事務事業）	%	100	100	100	100	現状
13 東葛中部地区総合開発事務組合の運営	重無	84002	3市の効率的な運営に向けた取り組み数	件	1	1	1	100	現状
14 東葛広域行政連絡協議会	重無	84002	課題への取り組み数	件	1	1	1	100	現状
15 JOBANアートライン協議会	重無	84002	イベント等の開催回数	件	0	1	0	0	現状
16 活力ある地域づくり推進会議	重無	83101	検討事項のうち、対応方針が定まった事項の割合	%	100	100	100	100	現状
17 柏レイソルホームタウン事業	重無	84002	ホームタウンサンクスデーの開催回数	回	1	1	1	100	現状
18 手賀沼・手賀川活用推進協議会	重無	84002	アクションプランに位置付けられた広域連携にかかる施策のうち	%	40	60	40	66.67	現状
19 新たな文化交流拠点施設整備の検討	重無	53101	「建設構想」策定の進捗率	%	10	15	15	100	現状
20 近隣市等とのまちづくり連絡協議会	重無	84001	新たに利用できる公共施設の数	件	0	1	0	0	現状
21 大学との連携	重無	81201	相互連携会議の設置数	件	2	3	1	33.33	現状
22 成田空港活用協議会への参画	重4	63401	事業の提案数	案	1	1	1	100	現状
23 我孫子市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理	重無	83101	総合戦略に位置付けた事業の検証率	%	100	100	100	100	現状
24 高野山新田地区活性化事業の推進	重無	83101	高野山新田地区で実施されている事業数	事業	15	20	14	70	現状

部の運営方針・課の目標設定書(令和2年度)

部コード	02	部名	企画財政部	部長名	小林 修
1. 部の運営方針(予算編成・実施計画策定方針などを踏まえて、基本計画の分野別計画や重点プロジェクト、所管に係る分野別基本計画の目標を考慮して、部の目標を達成するための方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<ul style="list-style-type: none"> 第四次総合計画の策定を進めます。また、第三次基本計画を着実に推進するため、第10期実施計画に位置づけた事業を適切に進行管理していきます。さらに、まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付ける施策や事業の着実な推進など人口減少対策に取り組めます。 行政評価制度を活用し、事業の適切な進行管理を行うとともに、行政改革の取り組みとも連動しながら事業の改善に努めます。 ファシリティマネジメントを推進するため、公共施設等総合管理計画の基本方針を踏まえた個別施設計画の策定に向けて各施設の所管課を支援するとともに、適切に進行管理を行います。また、他部局と連携し、施設整備において積極的な調整を進めます。 「湖北台地区公共施設の整備方針」に基づき、事業を進行管理していきます。 新たな文化交流拠点施設については、関係課と情報共有するとともに、施設の交流支援機能について情報収集していきます。 成田線の増発や常磐線特別快速列車の我孫子駅への停車など、鉄道の利便性の向上に取り組めます。 市民サービスの向上や効率的・効果的な行財政運営を図るため、近隣市町等と連携しながら、公共施設の相互利用や事務の共同処理の拡大など広域行政を一層進めます。なお、東葛中部地区総合開発事務組合については、我孫子市より職員1名を派遣するとともに、今後の運営手法について検討していきます。また、手賀沼・手賀川を活かして交流人口の拡大を図る取り組みを、引き続き進めていきます。 連携協定を結んでいる各大学と協力し、相互連携の取り組みを充実していきます。 平和事業を市民の協力と参加のもとに実施し、平和の大切さについて市民とともに考えます。 厳しい財政状況が続く中、持続可能な財政運営を図るため、中期財政計画を指針として、限られた財源を効率的・効果的に活用しながら、計画的な予算の編成と執行を進めます。 市の歳入の根幹をなす市税の確保に向け、税目ごとの的確な賦課・徴収を行い、自主財源の確保に努めます。市税の徴収では、滞納整理等の強化に向けた取り組みを進めます。また、個人市民税の特別徴収を引き続き進めるとともに、口座振替とコンビニ納付等の推進により徴収率の向上に努めます。市税以外の収入では、複数のポータルサイトを活用してふるさと納税を推進するとともに、寄附受入額の増加に繋がるよう魅力ある返礼品の企画・発掘に努めます。また、市民による他自治体へのふるさと納税額の増加に伴い、市税の減収額が拡大していることから、広報やホームページを通じて、減収の状況について広くお知らせしていきます。 予算編成では、歳出において扶助費や公債費などの増加が見込まれるため、歳入に見合った歳出が基本であるとの認識のもと、行政評価等と連動させながら経常的経費の削減を図ります。 予算編成状況や決算状況、財務書類、財政白書、健全化判断比率等の公表など、市の財政状況について、広報やホームページなどを通じて市民にわかりやすくお知らせします。 				<ul style="list-style-type: none"> 厳しい財政状況が続く中、持続可能な財政運営を図るため、国の制度改正や景気動向に伴って変動する税収等の財源を的確に捉え、新たに発生する行政需要等に適切に対応できるよう中期財政計画の見直しを行った。 ふるさと納税については、寄附受入額の増加を図るため、新たな返礼品を設定したことなどにより、当初想定した以上の実績をあげることができた。 扶助費などの社会保障関係費や公債費が増加しており、歳入に見合った歳出が予算の基本であるとの認識のもと、行政評価や事業仕分けなどと連動させながら予算編成を行った。 市の財政状況については、市民にわかりやすい情報提供を意識して、広報やホームページなどによりお知らせした。 	
				部の運営方針に対する部全体の総合評価	
				<ul style="list-style-type: none"> 部の運営方針に掲げた各課の取組については、概ね想定どおりに遂行できた。 財源の確保では、地方創生臨時交付金の有効活用を進めた。また、ふるさと納税における新たな返礼品設定などにより、歳入の増加につなげた。 令和4年度から第四次総合計画をスタートするため、基本構想の策定を行った。引き続き、計画の策定を進めていく。 	

課コード	03	課名	財政課	課長名	海津 里史
2. 課の目標(部の運営方針を受けて課の取組方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<ul style="list-style-type: none"> 財政運営の健全性を確保するための指針となる中期財政計画では、地方税制や社会保障制度の改正、景気動向に伴って変動する税収等の財源を的確に捉えていきます。また、第10期実施計画に位置付ける事業を進めるための財源を確保するとともに、新たに発生する行政需要に対応できるよう適切な見直しを行っていきます。さらに、第四次総合計画の策定に活用するため、財政シミュレーションを実施します。 予算編成を通して事務事業の更なる徹底的な見直しを行います。また、行政評価や事業仕分けの結果を踏まえながら、経常的経費の節減に取り組むとともに、投資的経費の重点的・効果的な配分を行い、より効率的・効果的な財政運営を進めます。さらに、引き続き国・県支出金に関する情報収集に努め、積極的な活用を図ります。 ふるさと納税については、複数のポータルサイトを活用しながら、我孫子市を応援してくれる納税者を増やし、歳入の増加につなげていきます。また、寄附者へのお礼として我孫子市の特産品を活用し、広くPRしていきます。さらに、寄附金の使途を明確にするとともに、市民が行う他自治体へのふるさと納税による市税の減収額について、広報やホームページで周知していきます。 市の財政状況や予算編成状況については、より深く理解していただくために、広報・ホームページ・出前講座を活用します。また、財政白書については、統一的な基準による財務書類等を掲載するなど、より充実した報告書にします。 複式簿記を前提とした統一的な基準による財務書類等については、関係課(会計課、施設管理課)との調整を図りながら作成し、予算編成等での活用方法について検討していきます。 				<p>中期財政計画は、国の制度改正や景気動向に伴って変動する税収等の財源を的確に捉え、新たに発生する行政需要等に適切に対応できるよう毎年度見直しを行っている。</p> <p>また、財政シミュレーションを実施し、第4次総合計画基本構想の策定に活用した。</p> <p>令和3年度予算編成では、湖北台保育園の再整備や子育て支援施設の私立保育園による運営支援など、若い世代が子育てしやすいまちづくりへの取り組みをはじめ、我孫子駅構内へのエレベーター整備、緊急車両の更新など、市民の安全・安心を守るための取り組み、小中学校施設をはじめとする公共施設の老朽化対策を中心に実施していくこととした。</p> <p>経常的経費については、事業仕分けや行政評価と連動しながら事業の選択と集中を進め、継続的な経費削減に努めている。</p> <p>現行制度で見込まれる国・県支出金については、法令や制度を精査し積極的に活用した。</p> <p>財政状況の提供については、予算編成状況や決算状況等について市広報・ホームページを活用して周知に努めた。</p> <p>統一的な基準による財務書類については、関係課との調整を図りながら作成し、その結果についての分析報告書を取りまとめた。</p>	
3. 課の目標を達成する上での課題と対応(人員の配置、組織のあり方など)					
<ul style="list-style-type: none"> 的確な歳入・歳出額を把握することは、社会経済状況や国の制度改正に大きな影響を受けることから容易ではありませんが、できる限り情報収集に努め、適切な対応を図ります。 厳しい財政状況が続く中、職員一人ひとりがコスト意識を強く持ち、我孫子市が置かれている財政状況を正しく認識することが必要なため、今後更なる意識改革を図っていきます。 					

4. 原因分析・改善策	
(課長)	(部長)
<ul style="list-style-type: none"> 国の制度改正や景気の動向など市を取り巻く社会経済環境の変化は、財政運営に大きな影響を与えることから、国・県からの通知により情報を得るとともに、課員全員が意識を高く持ち、自発的な収集と共有に努めていきます。 予算に係る庁内研修などを通じて、職員に対し市の財政状況についての情報を積極的に提供していくとともに、予算要求や流用・予備費充用要求について、必要性や緊急性、財源確保などの観点から厳しく精査し、その根拠を丁寧に説明することで、コスト意識の醸成を図っていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 市の財政運営に影響を与える外部環境の変化については、課全体で情報収集に努め、共有を図っていきます。 市の厳しい財政状況について、機会を捉えて繰り返し情報を提供するとともに、事業の効率化の徹底を全庁的に促し、職員の意識改革を図っていきます。

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業										
事務事業名(個別事業)		重 プ 該 当	施 策 コ ー ド	指 標	単 位	現 況 値	目 標 値	実 績 値	達 成 率(%)	評 価
1	財政情報の提供	重無	83301	財政情報に関するホームページへのアクセス件数	件	18,865	25,000	31,345	125.38	現状
2	中期財政計画の見直し	重無	83301	計画2年度・3年度の経常収支の平均	百万	△14	10	260	2.600	現状
3	予算編成	重無	83302	財政構造の弾力性を測る指標の一つである経常収支比率	%	94.8	94.9	95.3	99.58	現状
4	債務負担行為支払事務	重無	83302	債務負担行為のうち新規委託等用地取得費分(3年間の平均)	億円	0.5	5.5	0	0	現状
5	決算事務	重無	83302	当該年度経常収支比率	%	94.8	94.9	95.3	99.58	現状
6	財政事務	重無	83302	進捗率(会議等へ出席した回数・期限内に提出した調査件数/会議)	%	100	100	100	100	現状
7	基金の管理事務	重無	83303	財政調整基金の年度末残高	百万	2,126	2,150	2,347	109.16	現状
8	交付税事務	重無	83303	期限内に回答できた件数/問い合わせ件数	%	100	100	100	100	現状
9	起債事務	重無	83303	新規市債の実発行額	億円	27	31.2	27.6	113.04	現状
10	補助金事務	重無	83303	一般会計予算総額に対して、施策的補助金が占める割合	%	2.6	2.5	1.6	156.25	現状

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業										
事務事業名（個別事業）		重 施 該 当	施 策 コ ー ド	指 標	単 位	現 況 値	目 標 値	実 績 値	達 成 率 (%)	評 価
11	受益者負担の見直し	重無	83303	原価計算の実施率	%	100	100	0	0	現状
12	ふるさと納税の推進	重無	83303	ふるさと納税寄附金額	千円	12,729	15,000	35,738	238.25	現状
13	統一的な基準による財務書類の作成	重無	83301	進捗率（財務書類等の作成・公表）	%	0	100	100	100	現状

部の運営方針・課の目標設定書(令和2年度)

部コード	02	部名	企画財政部	部長名	小林 修
1. 部の運営方針(予算編成・実施計画策定方針などを踏まえて、基本計画の分野別計画や重点プロジェクト、所管に係る分野別基本計画の目標を考慮して、部の目標を達成するための方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<ul style="list-style-type: none"> 第四次総合計画の策定を進めます。また、第三次基本計画を着実に推進するため、第10期実施計画に位置づけた事業を適切に進行管理していきます。さらに、まち・ひと・しごと創生総合戦略に位置付ける施策や事業の着実な推進など人口減少対策に取り組みます。 行政評価制度を活用し、事業の適切な進行管理を行うとともに、行政改革の取り組みとも連動しながら事業の改善に努めます。 ファシリティマネジメントを推進するため、公共施設等総合管理計画の基本方針を踏まえた個別施設計画の策定に向けて各施設の所管課を支援するとともに、適切に進行管理を行います。また、他部局と連携し、施設整備において積極的な調整を進めます。 「湖北台地区公共施設の整備方針」に基づき、事業を進行管理していきます。 新たな文化交流拠点施設については、関係課と情報共有するとともに、施設の交流支援機能について情報収集していきます。 成田線の増発や常磐線特別快速列車の我孫子駅への停車など、鉄道の利便性の向上に取り組みます。 市民サービスの向上や効率的・効果的な行財政運営を図るため、近隣市町等と連携しながら、公共施設の相互利用や事務の共同処理の拡大など広域行政を一層進めます。なお、東葛中部地区総合開発事務組合については、我孫子市より職員1名を派遣するとともに、今後の運営手法について検討していきます。また、手賀沼・手賀川を活かして交流人口の拡大を図る取り組みを、引き続き進めていきます。 連携協定を結んでいる各大学と協力し、相互連携の取り組みを充実していきます。 平和事業を市民の協力と参加のもとに実施し、平和の大切さについて市民とともに考えます。 厳しい財政状況が続く中、持続可能な財政運営を図るため、中期財政計画を指針として、限られた財源を効率的・効果的に活用しながら、計画的な予算の編成と執行を進めます。 市の歳入の根幹をなす市税の確保に向け、税目ごとの的確な賦課・徴収を行い、自主財源の確保に努めます。市税の徴収では、滞納整理等の強化に向けた取り組みを進めます。また、個人市民税の特別徴収を引き続き進めるとともに、口座振替とコンビニ納付等の推進により徴収率の向上に努めます。市税以外の収入では、複数のポータルサイトを活用してふるさと納税を推進するとともに、寄附受入額の増加に繋がるよう魅力ある返礼品の企画・発掘に努めます。また、市民による他自治体へのふるさと納税額の増加に伴い、市税の減収額が拡大していることから、広報やホームページを通じて、減収の状況について広くお知らせしていきます。 予算編成では、歳出において扶助費や公債費などの増加が見込まれるため、歳入に見合った歳出が基本であるとの認識のもと、行政評価等と連動させながら経常的経費の削減を図ります。 予算編成状況や決算状況、財務書類、財政白書、健全化判断比率等の公表など、市の財政状況について、広報やホームページなどを通じて市民にわかりやすくお知らせします。 				<p>市税については適正な賦課を行うことにより、自主財源の確保に努めることができました。また、徴収率向上のため、特別徴収の推進に努めた。</p>	
				部の運営方針に対する部全体の総合評価	
				<ul style="list-style-type: none"> 部の運営方針に掲げた各課の取組については、概ね想定どおりに遂行できた。 財源の確保では、地方創生臨時交付金の有効活用を進めた。また、ふるさと納税における新たな返礼品設定などにより、歳入の増加につなげた。 令和4年度から第四次総合計画をスタートするため、基本構想の策定を行った。引き続き、計画の策定を進めていく。 	



課コード	04	課名	課税課	課長名	関口 浩紀
2. 課の目標(部の運営方針を受けて課の取組方針を記入)				部の運営方針に対する課の目標への取組結果	
<ul style="list-style-type: none"> 歳入の根幹である市税の確保に向け、税目ごとの的確な賦課を行い、自主財源の確保に努めます。 電子申告(個人市民税(給与支払報告書)、法人市民税、固定資産税(償却資産))の普及推進に努めます。 市民税徴収率向上に向けて、個人市民税の特別徴収を引き続き推進します。 				<ul style="list-style-type: none"> コロナ感染拡大の影響を受けながらも、各税目の適正な賦課を行いつつ課税客体を正確に把握し、自主財源を確保することができた。 電子申告においては、個人市民税の給与支払報告書、法人市民税の申告書、固定資産税の償却資産申告のいずれも利用率が拡大し、事務効率が向上した。 市民税の徴収率向上のため、特別徴収の推進に努めた。 	
3. 課の目標を達成する上での課題と対応(人員の配置、組織のあり方など)					
<p>課の人員構成は、年齢が若く、事務処理経験の浅い職員が多い。また、人員の少ない中で膨大な業務を行っているため、多くの時間外勤務を行っている。業務の見直し等を行い、事務の効率化を図って行く必要がある。</p>					



4. 原因分析・改善策	
<p>(課長)</p> <p>課の目標は達成できているが、事務処理経験の浅い若い職員の割合が多いこともあり、確定申告受付時から納税通知書の発送時までは、多くの時間外勤務を行っています。手続き等のデジタル化推進に伴い、市県民税の電子申告等も視野に入れながら、業務の改善・効率化を図っていきます。</p>	<p>(部長)</p> <p>引き続き、業務体制を見直し、業務効率化を図ります。</p>

5. 課の目標を達成するために取り組む事務事業									
事務事業名(個別事業)	重宝該当	施策コード	指標	単位	現況値	目標値	実績値	達成率(%)	評価
1 個人住民税賦課	重無	83303	課税客体に対して適正に課税した割合	%	100	100	99.99	99.99	現状
2 償却資産評価	重無	83303	償却資産の評価率	%	100	100	100	100	現状
3 固定資産税・都市計画税賦課事業	重無	83303	固定資産税・都市計画税の賦課割合	%	100	100	100	100	現状
4 土地の調査・評価	重無	83303	土地の利用変更(分合筆約1300筆)や所有権移転のあった土地の	%	100	100	100	100	現状
5 法人市民税・たばこ税の賦課・調定	重無	83303	法人市民税の適正課税割合	%	100	100	99.9	99.9	現状
6 税制改正事業	重無	83303	改正すべき事項の改正割合	%	100	100	100	100	現状
7 税証明発行業務事業	重無	83303	証明請求者に対する証明書発行割合	%	100	100	100	100	現状
8 軽自動車税の賦課・調定	重無	83303	課税客体に対して適性に課税した割合	%	100	100	100	100	現状
9 家屋の調査・評価	重無	83303	家屋の調査及び評価の進捗率	%	100	100	100	100	現状
10 電子申告サービス事業	重無	83204	実施率	%	13	15	70	466.67	現状

